

ビジョンの推進にむけて

1. ビジョンの推進体制

多文化共生社会の実現をめざし、市民、事業者、関係機関・団体等との連携・協働のもとに、多文化共生にかかわる施策を総合的に推進します。

1. 市の推進体制

本市の国際化・多文化共生推進担当が中心となり、ビジョンに基づいた施策の推進及び進捗について把握に努めます。また、国や府における新たな方針等については、ビジョンとの関係を検証しつつ、本市の状況に応じた取り組みを進めていきます。

具体的には、「国際化・多文化共生ビジョン連絡会議」を設置し、関係各部署の連絡調整及び連携を図るとともに、社会状況等の変化も考慮のうえ、必要に応じて取り組み内容を見直しながら、「めざす姿」の実現を図っていきます。

また、本市が主体となっていく、教育・福祉・防災その他の事業において、多文化共生推進のための学習や研鑽の機会を提供します。

2. 市民や市民団体、事業者、関係機関等との連携

多文化共生の推進や外国人市民等に対する課題解決にあたり、市はもとより、各主体は様々な市民団体や個人、事業者、関係機関等との連携や協力が不可欠です。

本ビジョンの推進にあたり、K I F Aとの連携に軸をおき、国際交流センター事業の運営を委託し、本センターを通じて、様々な主体がつながり、お互いに働きかけ、協力しあえる関係を築きます。

3. 国、大阪府、他市町村との連携

多文化共生施策の推進にあたっては、国や大阪府と役割分担をしながら進めます。

また、市民の生活や活動の範囲は市内にとどまらないことから、必要に応じて他の市区町村と情報交換や連携を図り、本市の中だけでは難しい課題の解決に向けて取り組みます。

2. PDCAサイクルによる進行管理

重点テーマにおける取り組みの方向性に基づき、PDCAサイクルにより進行管理を行います。そこで、外国人市民や来訪者に対してモニタリング調査を行うなど、その結果を評価することにより、今後の施策やビジョンの見直しを行っていきます。